

2020年 新春ご挨拶

一般社団法人 日本加工食品卸協会
会長 國分 晃



新年明けましておめでとうございます。

2020年の年頭にあたりご挨拶申し上げます。全国各地の皆様におかれましては、つつがなく新春をお迎えのことと存じ、心よりお喜び申し上げます。

昨年も異常気象の影響とも思える台風や豪雨でかつてない規模で河川が決壊し広域にわたる浸水被害が発生しました。気候変動に対する地球規模での具体的対策の取組みの必要性を強く感じた年でした。また私たち業界は、常に円滑な食のライフラインを維持することを大きな社会的使命として担っておりますが、近年の自然災害の多発及び深刻化を受け、一定以上の災害警報発令時におけるサプライチェーン全体の運営体制について行政のご指導をいただき、特に物流に関する運用ガイドラインを構築すべき社会情勢になってきているのではないかと思います。

さて食品業界の最大の課題でありました消費増税と軽減税率制度が導入されました。2度の増税延期がありましたが関連省庁のご指導をいただきながら業界として入念に準備を進め大きな問題の発生もなく経過するができました。また物流環境の課題解決に向けて着実に協調領域事業を拡大し、入荷トラックの待機時間の削減を意図する業界標準のインフラシステムを完成させて「N-Torus」と愛称を定め普及拡大につとめました。特にこのシステムが業界全体に評価されメーカーと小売業の皆様にも活用されサプライチェーン全体での広がりとなっていることは大変心強いものがあります。

さて本年は、いよいよ2020東京大会が開催されます。大会期間中の円滑な物流の確保に向けてサプライチェーン全体で情報を共有して万全の体制で臨みたいと考えておりますが、この東京五輪を契機に持続可能な消費と生産形態の確保に向けた「エシカル消費」が一層普及することが期待されています。食品流通の健全な発展に貢献する事業活動として弊協会もこうした活動にも注力して参りたいと考えております。

最後に本年も関係各位に一層のご指導・ご鞭撻をお願いしますとともに、本年が皆様方にとってよりよい年になりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。